

通信路(7章)

1

通信路のモデル

情報

送信者 → 通信路 → 受信者

$$A = \left\{ \begin{matrix} a_1, \dots, a_n \\ P(a_1), \dots, P(a_n) \end{matrix} \right\}$$

$$B = \left\{ \begin{matrix} b_1, \dots, b_m \\ P(b_1), \dots, P(b_m) \end{matrix} \right\}$$

外乱(雑音)

送信情報源 (送信アルファベットと生成確率)

受信情報源 (受信アルファベットと受信確率) $m \neq n$ でもよい。

2

イメージ

外乱(雑音)により記号 a_i を送ったら、記号 b_j が受信される。記号の種類や数は異なっていてもかまわない。

a_i を送信する。 → 通信路 → b_j を受信する。

外乱(雑音)

3

通信路は、送信記号 a_i を送った時、受信記号 b_j が受信される確率 $P(a_i \rightarrow b_j)$ でモデル化される。すべての組み合わせの確率で一つの通信路が定義される。

$P(a_1) a_1$ → $b_1 P(b_1)$
 $P(a_2) a_2$ → $b_2 P(b_2)$
 $\vdots \quad \vdots$
 $P(a_n) a_n$ → $b_m P(b_m)$

$P(a_i \rightarrow b_j) = P(b_j / a_i)$

ある生成確率で、送信記号が送信される。

条件付き確率 (順序に注意)

ある受信確率で、受信記号が受信される。

4

通信路線図

$\forall i, 1 \leq i \leq n, \sum_{j=1}^m P(a_i \rightarrow b_j) = 1$

雑音により、記号が変化する。

送信アルファベット (n 個の送信記号の集合)

受信アルファベット (m 個の受信記号の集合)

5

通信路行列

送信アルファベット

受信アルファベット

$\forall i, 1 \leq i \leq n, \sum_{j=1}^m t_{ij} = 1$

行で和をとると1。(確率ベクトル)

$$T = \begin{matrix} & \begin{matrix} b_1 & \dots & b_j & \dots & b_m \end{matrix} \\ \begin{matrix} a_1 \\ \vdots \\ a_i \\ \vdots \\ a_n \end{matrix} \rightarrow & \begin{bmatrix} t_{11} & \dots & \uparrow & \dots & t_{1m} \\ \vdots & & \uparrow & & \vdots \\ \vdots & & t_{ij} & & \vdots \\ \vdots & & \vdots & & \vdots \\ t_{n1} & \dots & \dots & \dots & t_{nm} \end{bmatrix} \end{matrix}$$

$$= \begin{bmatrix} P(a_1 \rightarrow b_1) & \dots & P(a_1 \rightarrow b_j) & \dots & P(a_1 \rightarrow b_m) \\ \vdots & & \vdots & & \vdots \\ P(a_i \rightarrow b_1) & \dots & P(a_i \rightarrow b_j) & \dots & P(a_i \rightarrow b_m) \\ \vdots & & \vdots & & \vdots \\ P(a_n \rightarrow b_1) & \dots & P(a_n \rightarrow b_j) & \dots & P(a_n \rightarrow b_m) \end{bmatrix}$$

6

通信路行列(条件付き確率)

$$T = \begin{bmatrix} P(b_1/a_1) & \dots & P(b_j/a_1) & \dots & P(b_m/a_1) \\ \vdots & \ddots & \vdots & \ddots & \vdots \\ P(b_1/a_i) & \dots & P(b_j/a_i) & \dots & P(b_m/a_i) \\ \vdots & \ddots & \vdots & \ddots & \vdots \\ P(b_1/a_n) & \dots & P(b_j/a_n) & \dots & P(b_m/a_n) \end{bmatrix}$$

正方行列とは限らない。
(行数と列数が違っていても良い。)

$$\sum_{\beta} P(\beta/\alpha = a) = 1$$

条件付き確率の性質。
ある条件を固定したとき、確率の総和は1。

7

通信路行列の意味

$$1 \leq i \leq n, 1 \leq j \leq m$$

$$t_{ij} = P(b_j/a_i) = P(a_i \rightarrow b_j)$$

通信路行列の要素

a_i を送る条件の下で、 b_j が受信される確率

a_i を送信したら、 b_j が受信される確率

通信路行列の関係式

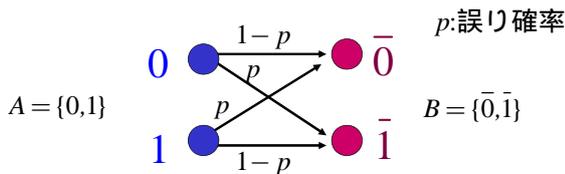
$$\forall i, j, 1 \leq i \leq n, 1 \leq j \leq m \quad 0 \leq t_{ij} \leq 1$$

確率の式。
(行ベクトルが確率ベクトル)

$$\forall i, 1 \leq i \leq n \quad \sum_{j=1}^m t_{ij} = 1$$

8

通信路例1(2元対称通信路)



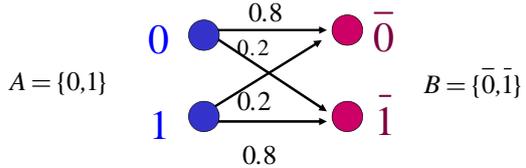
$$T_S = \begin{bmatrix} 1-p & p \\ p & 1-p \end{bmatrix}$$

応用上重要。
誤り確率により、対称的に送信記号が変化する。

9

具体的な2元対称通信路

誤り確率 $p = 0.2$

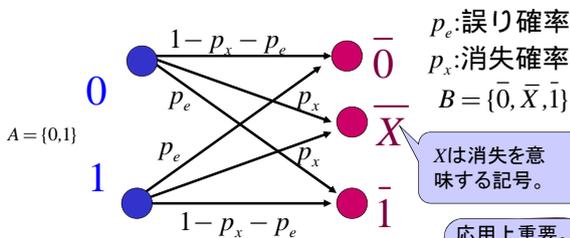


$$T_S = \begin{bmatrix} 0.8 & 0.2 \\ 0.2 & 0.8 \end{bmatrix}$$

通信路行列は、対称行列になる。

10

通信路例2(2元対称消失通信路)



$$T_X = \begin{bmatrix} 1-p_x-p_e & p_x & p_e \\ p_e & p_x & 1-p_x-p_e \end{bmatrix}$$

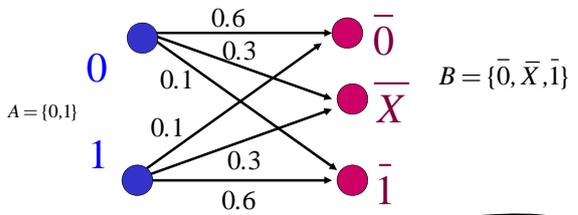
Xは消失を意味する記号。

応用上重要。
送信記号の消失と誤りの両方が起こる。

11

具体的な2元対称消失通信路

誤り確率 $p_e = 0.1$ 消失確率 $p_x = 0.3$



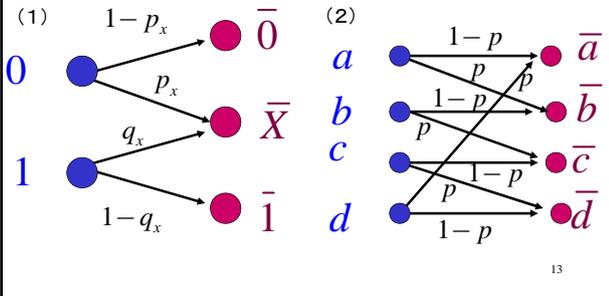
$$T_X = \begin{bmatrix} 0.6 & 0.3 & 0.1 \\ 0.1 & 0.3 & 0.6 \end{bmatrix}$$

(数学的な対称行列ではないが) ある種の対称性が存在する。

12

練習

次の通信路線図で表されている通信路の、
通信路行列を求めよ。



練習2

次の通信路行列で表されている通信路の通信路
線図を示せ。

(1) 送信情報源 $A = \{a, b, c\}$ $T_1 = \begin{bmatrix} 0.7 & 0.2 & 0.1 \\ 0.2 & 0.6 & 0.2 \\ 0.1 & 0.2 & 0.7 \end{bmatrix}$
 受信情報源 $B = \{\bar{a}, \bar{b}, \bar{c}\}$

(2) 送信情報源 $A = \{a, b, c, d\}$
 受信情報源 $B = \{\bar{a}, \bar{b}, \bar{c}, \bar{d}\}$

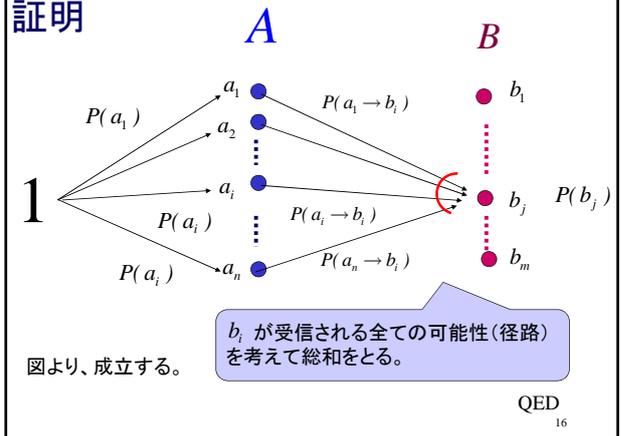
$$T_2 = \begin{bmatrix} 1-p-q & p & 0 & q \\ p & 1-p-q & q & 0 \\ 0 & p & 1-p-q & q \\ q & 0 & p & 1-p-q \end{bmatrix}$$

通信路での確率の関係1
(全確率の公式)

通信路を通して受信される
記号の受信確率は、送信記
号の生成確率と通信路の確
率的振る舞いで定まる。

$$\begin{aligned} \forall j, 1 \leq j \leq m, \\ P(b_j) &= \sum_{i=1}^n P(b_j/a_i)P(a_i) \\ &= \sum_{i=1}^n P(a_i)P(a_i \rightarrow b_j) \\ &= \sum_{i=1}^n P_i t_{ij} \end{aligned}$$

証明



別証明

結合確率と条件付き確率の関係式。

(1) $P(a_i, b_j) = P(b_j/a_i)P(a_i)$

結合確率: 事象 a_i が起こりかつ
事象 b_j が起こる確率。
2つの事象が同時に起こる確率。

条件付き確率: 事象 a_i
が起こったとしたときに事
象 b_j が起こる確率。

結合確率による確率の計算

(2) $P(b_j) = \sum_i P(a_i, b_j)$

結合確率を片方の事象系において総和をとる。

(1)、(2)より成り立つ。

QED 17

通信路での確率の関係2(ベーズの定理)

ベーズの定理

$$\forall i, j, 1 \leq i \leq n, 1 \leq j \leq m, \\ P(a_i/b_j) = \frac{P(b_j/a_i)P(a_i)}{\sum_{k=1}^n P(b_j/a_k)P(a_k)}$$

条件付き確
率の条件と
発生事象を
交換する公
式。(一般の
確率論で成
立する。)

通信路を通して記号 b_j が受信されたとき、
送信側で記号 a_i を送っている確率が計算で
きることを表す式。通信路の性質と送信アルファ
ベットの発生確率は既知であることに注意する。

18

証明

結合確率の式

$$P(a_i, b_j) = P(b_j | a_i) P(a_i) = P(a_i | b_j) P(b_j)$$

$$\therefore P(a_i | b_j) = \frac{P(a_i, b_j)}{P(b_j)} = \frac{P(b_j | a_i) P(a_i)}{P(b_j)}$$

全確率の式を適用する。

$$\therefore P(a_i | b_j)$$

$$= \frac{P(a_i, b_j)}{\sum_{k=1}^n P(b_j | a_k) P(a_k)} = \frac{P(b_j | a_i) P(a_i)}{\sum_{k=1}^n P(b_j | a_k) P(a_k)} \quad \text{QED } 19$$

通信路行列と確率

送信情報源の生成記号確率分布 $P_A = (P(a_1), \dots, P(a_n))$ と受信情報源の受信記号確率分布 $P_B = (P(b_1), \dots, P(b_m))$ の関係は、通信路行 T を用いて次式で表される。

$$P_B = P_A T$$

$$(P(b_1), \dots, P(b_m)) = (P(a_1), \dots, P(a_n)) \begin{bmatrix} t_{11} & \dots & t_{1m} \\ \vdots & \ddots & \vdots \\ t_{n1} & \dots & t_{nm} \end{bmatrix}$$

情報理論では、行ベクトル(横ベクトル)が確率ベクトルになるように扱うことが多い。

別表現

転地を行うと、左右が反転することに注意

$${}^t P_B = {}^t T {}^t P_A$$

$$\begin{bmatrix} P(b_1) \\ \vdots \\ P(b_m) \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} t_{11} & \dots & t_{n1} \\ \vdots & \ddots & \vdots \\ t_{1m} & \dots & t_{nm} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} P(a_1) \\ \vdots \\ P(a_n) \end{bmatrix}$$

線形代数等では、列ベクトルを多く扱う。これらを混同せずに扱う必要がある。

通信路で送信される情報量 (相互情報量)

$$A = \begin{bmatrix} a_1 & \dots & a_n \\ P(a_1) & \dots & P(a_n) \end{bmatrix} \quad B = \begin{bmatrix} b_1 & \dots & b_m \\ P(b_1) & \dots & P(b_m) \end{bmatrix}$$



通信路を通さずに直に情報源Aに関する情報を得られる場合。

通信路を通して、間接的に情報源Aに関する情報を得る場合。

通信路で伝送される情報量

= 送信情報源の情報量

- 受信情報を条件とする送信情報源の情報量

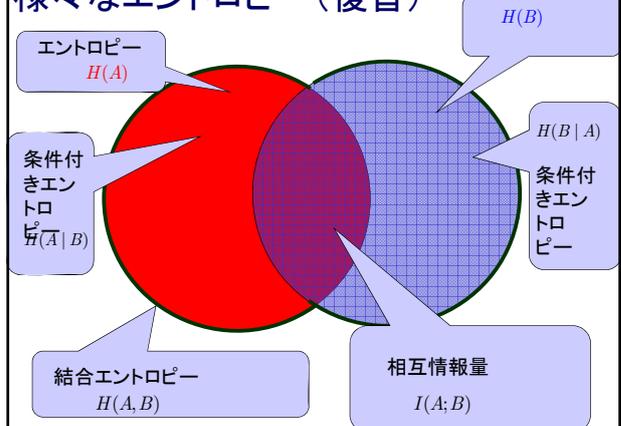
$$I(A; B)$$

$$H(A)$$

$$- H(A/B)$$

伝送される情報量は、相互情報量として求められる。

様々なエントロピー(復習)



$$\begin{aligned}
 H(A) &= -\sum_{\alpha \in A} P(\alpha) \log P(\alpha) & H(B) &= -\sum_{\beta \in B} P(\beta) \log P(\beta) \\
 H(A|B) &= \sum_{\beta \in B} P(\beta) H(A|\beta) & H(B|A) &= \sum_{\alpha \in A} P(\alpha) H(B|\alpha) \\
 &= -\sum_{\beta \in B} P(\beta) \sum_{\alpha \in A} P(\alpha|\beta) \log P(\alpha|\beta) & &= -\sum_{\alpha \in A} P(\alpha) \sum_{\beta \in B} P(\beta|\alpha) \log P(\beta|\alpha) \\
 &= -\sum_{\alpha \in A, \beta \in B} P(\alpha, \beta) \log P(\alpha|\beta) & &= -\sum_{\alpha \in A, \beta \in B} P(\alpha, \beta) \log P(\beta|\alpha) \\
 \\
 H(A, B) &= -\sum_{\alpha \in A, \beta \in B} P(\alpha, \beta) \log P(\alpha, \beta) \\
 &= H(A) + H(B) - I(A; B) \\
 I(A; B) &= H(A) - H(A|B) \\
 &= H(B) - H(B|A) \\
 &= H(A) + H(B) - H(A, B)
 \end{aligned}$$

25

相互情報量の様々な計算式(公式)

$$\begin{aligned}
 I(A; B) &= H(A) - H(A|B) \\
 &= -\sum_{\alpha \in A} P(\alpha) \log P(\alpha) - \left(-\sum_{\beta \in B} \sum_{\alpha \in A} P(\alpha, \beta) \log P(\alpha|\beta) \right) \\
 &= -\sum_{\alpha \in A} \sum_{\beta \in B} P(\alpha, \beta) \log P(\alpha) + \sum_{\alpha \in A} \sum_{\beta \in B} P(\alpha, \beta) \log P(\alpha|\beta) \\
 &= \sum_{\alpha \in A} \sum_{\beta \in B} P(\alpha, \beta) \log \frac{P(\alpha|\beta)}{P(\alpha)} \\
 &= \sum_{\alpha \in A} \sum_{\beta \in B} P(\alpha, \beta) \log \frac{P(\alpha, \beta)}{P(\alpha)P(\beta)} \\
 &= \sum_{\alpha \in A, \beta \in B} P(\alpha, \beta) \log \frac{P(\alpha, \beta)}{P(\alpha)P(\beta)}
 \end{aligned}$$

26

例1

通信路行列 $T = \begin{bmatrix} 3/4 & 1/4 \\ 1/4 & 3/4 \end{bmatrix}$ の通信路で

情報源 $A = \left\{ \begin{matrix} 0 & , & 1 \\ 1/2 & , & 1/2 \end{matrix} \right\}$ を伝送するとき、

受信される情報源 $B = \left\{ \begin{matrix} \bar{0} & , & \bar{1} \\ P(\bar{0}) & , & P(\bar{1}) \end{matrix} \right\}$ および、

伝送される情報量(相互情報量) $I(A; B)$ を求めよ。

$P(0) = 1/2$ $P(1) = 1/2$

27

(計算例)

まず、受信記号 $B = \{\bar{0}, \bar{1}\}$ の生成確率 $P(\bar{0}), P(\bar{1})$ を求める。

$$\begin{aligned}
 P_B &= P_A T \\
 \therefore (P(\bar{0}), P(\bar{1})) &= (P(0), P(1)) T \\
 \therefore (P(\bar{0}), P(\bar{1})) &= (1/2, 1/2) \begin{bmatrix} 3/4 & 1/4 \\ 1/4 & 3/4 \end{bmatrix} = (1/2, 1/2)
 \end{aligned}$$

次に、結合確率を求める。

$$\begin{aligned}
 P(0, \bar{0}) &= P(\bar{0}|0)P(0) = \frac{3}{4} \times \frac{1}{2} = \frac{3}{8} && \text{0を送信} \\
 P(0, \bar{1}) &= P(\bar{1}|0)P(0) = \frac{1}{4} \times \frac{1}{2} = \frac{1}{8} \\
 P(1, \bar{0}) &= P(\bar{0}|1)P(1) = \frac{1}{4} \times \frac{1}{2} = \frac{1}{8} && \text{1を送信} \\
 P(1, \bar{1}) &= P(\bar{1}|1)P(1) = \frac{3}{4} \times \frac{1}{2} = \frac{3}{8}
 \end{aligned}$$

28

以上より、相互情報量を求める。

$$\begin{aligned}
 I(A; B) &= \sum_{\alpha \in A, \beta \in B} P(\alpha, \beta) \log \frac{P(\alpha, \beta)}{P(\alpha)P(\beta)} \\
 &= P(0, \bar{0}) \log \frac{P(0, \bar{0})}{P(0)P(\bar{0})} + P(0, \bar{1}) \log \frac{P(0, \bar{1})}{P(0)P(\bar{1})} + \\
 &\quad P(1, \bar{0}) \log \frac{P(1, \bar{0})}{P(1)P(\bar{0})} + P(1, \bar{1}) \log \frac{P(1, \bar{1})}{P(1)P(\bar{1})} \\
 &= \frac{3}{8} \log \frac{3}{2} + \frac{1}{8} \log \frac{1}{2} + \frac{1}{8} \log \frac{1}{2} + \frac{3}{8} \log \frac{3}{2} \\
 &= \frac{3}{4} \log 3 - 1 \simeq 0.189 [\text{bit / 記号}]
 \end{aligned}$$

29

練習

通信路行列 $T = \begin{bmatrix} 3/4 & 1/4 \\ 1/4 & 3/4 \end{bmatrix}$ の通信路で

情報源 $A = \left\{ \begin{matrix} 0 & , & 1 \\ 1/3 & , & 2/3 \end{matrix} \right\}$ を伝送するとき、

受信される情報源 $B = \left\{ \begin{matrix} \bar{0} & , & \bar{1} \\ P(\bar{0}) & , & P(\bar{1}) \end{matrix} \right\}$ および、

伝送される情報量(相互情報量) $I(A; B)$ を求めよ。

$P(0) = 1/3$ $P(1) = 2/3$

30

通信路容量(重要)

(定義): 通信路容量

通信路 T に対して、次式で表される値を通信路容量という。

$$C = \max_A I(A; B)$$

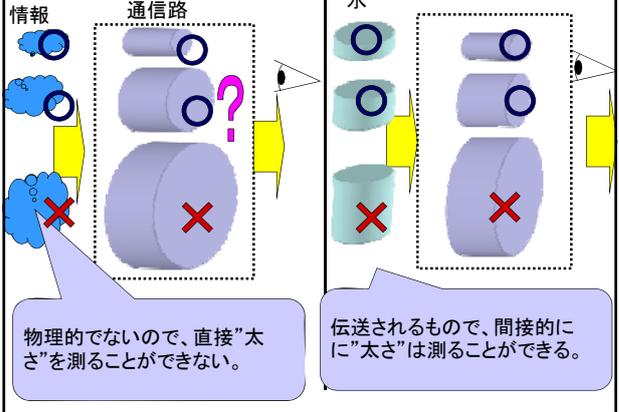
ここで、 \max は送信情報源の確率的な組み合わせ全ての中で最大値を選ぶ。

相互情報量は、情報源Aと情報源Bの組み合わせで定まる。また、受信情報源Bは送信情報源Aと通信路Tで定まる。一番多く情報を伝達できるように送信側の確率を定めて送信する。

通信路の"太さ"を表す式。情報を伝送してみて最大の情報量で定義する。

31

イメージ



物理的でないので、直接"太さ"を測ることができない。

伝送されるもので、間接的に"太さ"は測ることができる。

例

通信路行列 $T = \begin{bmatrix} 3/4 & 1/4 \\ 1/4 & 3/4 \end{bmatrix}$ の通信路の通信路容量 C_T を求めよ。(誤り確率 $p = 1/4$ の2元対称通信路)

(解答例)

送信情報源を $A = \begin{Bmatrix} 0 \\ p_A \end{Bmatrix}, \begin{Bmatrix} 1 \\ 1-p_A \end{Bmatrix}$ とし、

受信情報源を $B = \begin{Bmatrix} \bar{0} \\ p_B \end{Bmatrix}, \begin{Bmatrix} \bar{1} \\ 1-p_B \end{Bmatrix}$ とする。

また、 $P_A = (p_A, 1-p_A), P_B = (p_B, 1-p_B)$ とする。

誤り確率と記号発生確率、記号受信確率を混同しないこと。

33

まず、受信記号の生起確率を求める。

$$P_B = P_A T$$

$$\therefore (p_B, 1-p_B) = (p_A, 1-p_A) \begin{bmatrix} 3/4 & 1/4 \\ 1/4 & 3/4 \end{bmatrix}$$

$$\therefore (p_B, 1-p_B) = \left(\frac{1}{4} + \frac{p_A}{2}, \frac{3}{4} - \frac{p_A}{2} \right)$$

$$\therefore p_B = \frac{1}{4} + \frac{p_A}{2} = \frac{1+2p_A}{4}$$

次に、結合確率を求める。

0を送信して、しかも0が受信される確率

0を送信という条件下、0を受信する確率

0を送信する確率

$$P(0, \bar{0}) = P(\bar{0}|0)P(0) = \frac{3}{4} p_A$$

$$P(0, \bar{1}) = P(\bar{1}|0)P(0) = \frac{1}{4} p_A$$

34

$$P(1, \bar{0}) = P(\bar{0}|1)P(1) = \frac{1}{4}(1-p_A)$$

$$P(1, \bar{1}) = P(\bar{1}|1)P(1) = \frac{3}{4}(1-p_A)$$

条件付きエントロピー $H(B/A)$ を求める。

$$H(B/A) = - \sum_{\alpha \in A, \beta \in B} P(\alpha, \beta) \log P(\beta/\alpha)$$

$$= \frac{3}{4} p_A \log \frac{4}{3} + \frac{1}{4} p_A \log 4 + \frac{1}{4} (1-p_A) \log 4 + \frac{3}{4} (1-p_A) \log \frac{4}{3}$$

$$= \frac{1}{4} \log 4 + \frac{3}{4} \log \frac{4}{3}$$

$$= \mathcal{H}\left(\frac{1}{4}\right)$$

$$= \mathcal{H}(p)$$

通信路の誤り確率だけで定まる。 $\mathcal{H}(p)$ は2元のエントロピー関数 $\mathcal{H}(p) = -p \log p - (1-p) \log(1-p)$

35

従って、相互情報量 $I(A; B)$ は次式で求められる。

$$I(A; B) = H(B) - H(B/A)$$

$$= \mathcal{H}(p_B) - \mathcal{H}(p)$$

$$= \mathcal{H}\left(\frac{1}{4} + \frac{p_A}{2}\right) - \mathcal{H}\left(\frac{1}{4}\right)$$

よって、通信路容量 C_T は以下のように求められる。
 $C_T = \max_A I(A; B)$

$$= \max_{p_A \in [0, 1]} \left\{ \mathcal{H}\left(\frac{1}{4} + \frac{p_A}{2}\right) - \mathcal{H}\left(\frac{1}{4}\right) \right\}$$

$$= \max_{p_A \in [0, 1]} \left\{ \mathcal{H}\left(\frac{1}{4} + \frac{p_A}{2}\right) \right\} - \mathcal{H}\left(\frac{1}{4}\right)$$

$$= 1 - \left(\frac{1}{4} \log 4 + \frac{3}{4} \log \frac{4}{3} \right) \simeq 0.189$$

ここで、最大値は

$$\frac{1}{4} + \frac{p_A}{2} = \frac{1}{2}$$

$$\therefore p_A = \frac{1}{2}$$

のときに実現される。また、このときの p_B は以下である。

$$p_B = \frac{1}{4} + \frac{p_A}{2} = \frac{1}{2}$$

36

練習

通信路行列 $T = \begin{bmatrix} 2/3 & 1/3 \\ 1/3 & 2/3 \end{bmatrix}$ の通信路の通信路容量 C_T を求めよ。

37

2元対称通信路の通信路容量

2元対称通信路の通信路容量

誤り確率 p の2元対称通信路の通信路容量 C は次式で求められる。

$$C = 1 - \mathcal{H}(p)$$

通信路容量が達成されるとき、送信、受信の各確率は以下で表される。

$$P_A = (P(0), P(1)) = (1/2, 1/2)$$

$$P_B = (P(\bar{0}), P(\bar{1})) = (1/2, 1/2)$$

対称性より、送信を均等に行くと、受信も均等になる。
(式で計算して確かめると良い。)

38

証明 通信路行列は、次式のようになる。

$$T_p = \begin{bmatrix} 1-p & p \\ p & 1-p \end{bmatrix}$$

例題と同様にして以下のように求められる。

$$(p_B, 1-p_B) = (p_A, 1-p_A) \begin{bmatrix} 1-p & p \\ p & 1-p \end{bmatrix}$$

$$\therefore p_B = p_A + p - 2p_{AP}$$

$$C_T = \max_A I(A; B)$$

$$= \max_{p_A \in \{0,1\}} \{ \mathcal{H}(p_B) - \mathcal{H}(p) \}$$

$$= \max_{p_A \in \{0,1\}} \{ \mathcal{H}(p_B) \} - \mathcal{H}(p)$$

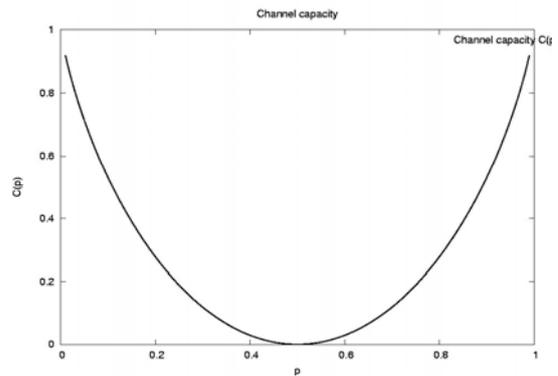
$$= 1 - \mathcal{H}(p)$$

$$\begin{aligned} \therefore (p_A = 1/2) \\ \rightarrow p_B = 1/2 \\ \rightarrow \mathcal{H}(p_B) = 1 \end{aligned}$$

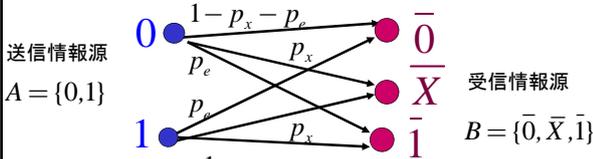
QED

39

2元対称通信路の通信路容量(概形)



2元対称消失通信路の通信路容量



p_e : 誤り確率 p_x : 消失確率

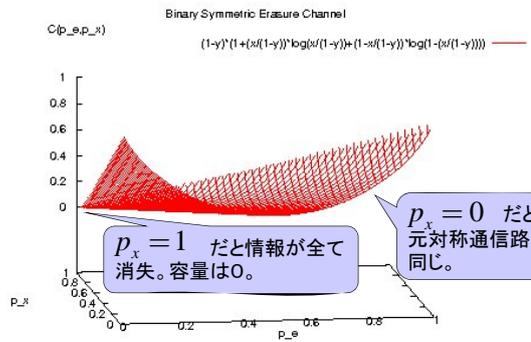
$$T_X = \begin{bmatrix} 1-p_x-p_e & p_x & p_e \\ p_e & p_x & 1-p_x-p_e \end{bmatrix}$$

$$C_{T_X} = (1-p_x) \left[1 - \mathcal{H} \left(\frac{p_e}{1-p_x} \right) \right]$$

誤り確率と消失確率の関数。
(導出は省略。)

41

2元対称消失通信路の通信路容量



$p_x = 1$ だと情報が全て消失。容量は0。

$p_x = 0$ だと2元対称通信路と同じ。

雑音のない通信路

(定義) 雑音の無い通信路

受信記号から送信記号が一意に確定できるような通信路を**雑音の無い通信路**という。

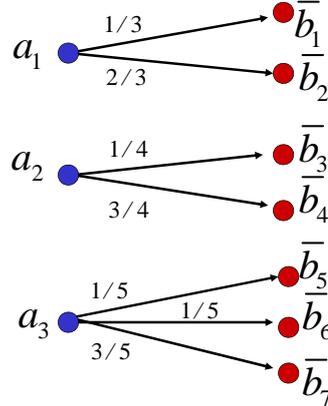
雑音の無い通信路の通信路行列

$$T = \begin{bmatrix} 1/3 & 2/3 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1/4 & 3/4 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 1/5 & 1/5 & 3/5 \end{bmatrix}$$

列ベクトルが全て、1要素以外0。
(行ベクトルは確率ベクトル)

43

雑音の無い通信路の通信路線図



雑音がないので、受信記号から送信記号を特定できる。

44

雑音のない通信路の通信路容量

雑音の無い通信路では、受信記号を条件とする条件付き確率が必ず1または0となる。すなわち、

$$\forall \alpha \in A, \beta \in B \quad P(\alpha/\beta) = 1 \text{ or } 0$$

$$\therefore \forall \beta \in B \quad H(A/\beta) = -\sum_{\alpha \in A} P(\alpha/\beta) \log P(\alpha/\beta) = 0$$

$$\therefore H(A/B) = \sum_{\beta \in B} P(\beta) H(A/\beta) = 0$$

よって、

$$I(A;B) = H(A) - H(A/B) = H(A)$$

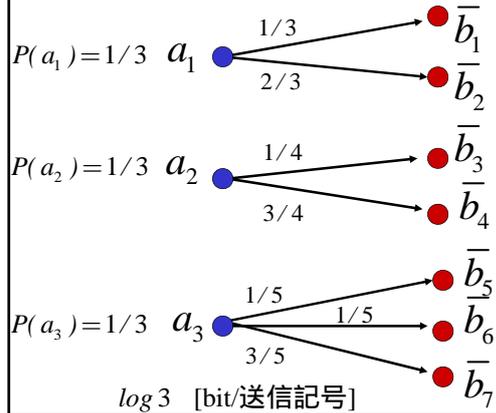
したがって、

$$C = \max_A I(A;B) = \max_A H(A) = \log n$$

ただし、 $P(a_1) = P(a_2) = \dots = P(a_n)$

45

雑音の無い通信路の通信路容量例



46

練習

送信アルファベット $A = \{a_1, a_2\}$

受信アルファベット $B = \{\bar{b}_1, \bar{b}_2, \bar{b}_3, \bar{b}_4, \bar{b}_5\}$

通信路行列

$$T = \begin{bmatrix} 2/5 & 3/5 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 2/9 & 3/9 & 4/9 \end{bmatrix}$$

で表わされる(雑音の無い)通信路の通信路容量 C_T と、 C_T を実現する際の送信情報源、および受信情報源を定めよ。

47

確定的通信路

(定義) 確定的通信路

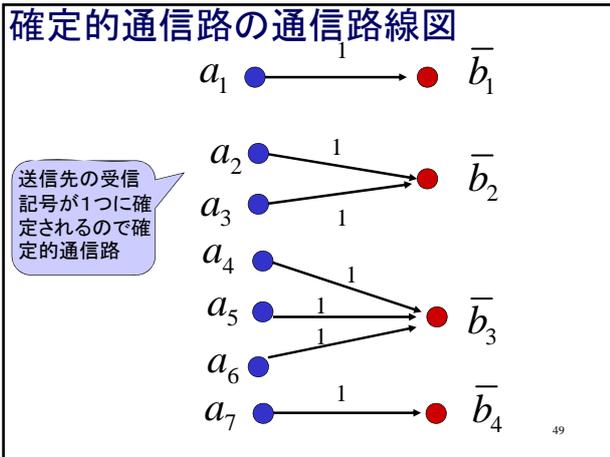
各送信記号が唯一つの受信記号に伝送されるような通信路を**確定的通信路**という。

確定的通信路の通信路行列

$$T = \begin{bmatrix} 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1 \end{bmatrix}$$

行ベクトルが全て、1要素以外0。
(行ベクトルは確率ベクトル)

48



確定的通信路の通信路容量

確定的通信路では、送信記号を条件とする条件付き確率が必ず1または0となる。すなわち、

順序に注意

$$\forall \alpha \in A, \beta \in B \quad P(\beta/\alpha) = 1 \text{ or } 0$$

$$\therefore \forall \alpha \in A \quad H(B/\alpha) = -\sum_{\beta \in B} P(\beta/\alpha) \log P(\beta/\alpha) = 0$$

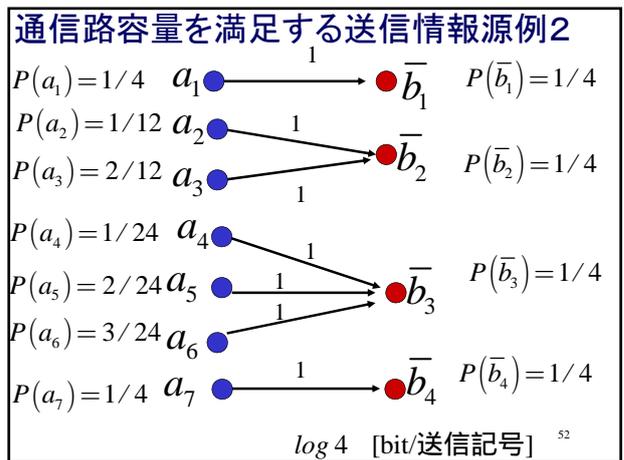
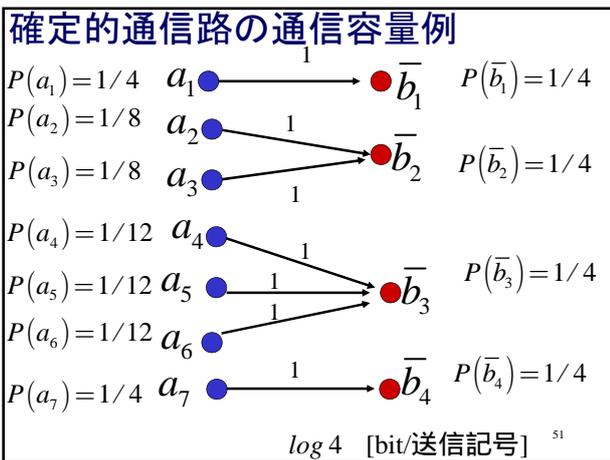
$$\therefore H(B/A) = \sum_{\alpha \in A} P(\alpha) H(B/\alpha) = 0$$

よって、 $I(A; B) = H(B) - H(B/A) = H(B)$

したがって、 $C = \max_A I(A; B) = \max_A H(B) = \log m$

ただし、 $P(b_1) = P(b_2) = \dots = P(b_m)$

受信側の確率が均等になるように、送信記号の確率選べる。



練習

送信アルファベット $A = \{a_1, a_2, a_3, a_4, a_5\}$

受信アルファベット $B = \{\bar{b}_1, \bar{b}_2, \bar{b}_3\}$

通信路行列

$$T = \begin{bmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 1 \end{bmatrix}$$

で表わされる(確定的)通信路の通信路容量 C_T と、 C_T を実現する際の送信情報源、および受信情報源を定めよ。

53